

東京社保協ニュース

ホームページ <http://www.tokyo-syahokyo.net/>

NO.200号 2010年3月1日 発行

今月の主な記事

- 1 頁、都立3小児病院存続！子どものいのちを守れ！
3・27集会
- 2 頁～4 頁、地域社保協交流集会 特集
- 4 頁、江戸川春闘決起集会、お知らせ

東京社会保障推進協議会(東京社保協)
〒170-0005 豊島区南大塚2丁目33番10号
東京労働会館6階
TEL 03-5395-3165 FAX 03-3946-6823



都立3小児病院存続！ 子どものいのちを守れ！

あきらめず、引き続き運動を粘り強く続けましょう！

東京都は昨年3月27日に都議会でも決された都立3小児病院の廃止条例に固執し、都民の貴重な財産である清瀬、八王子、梅ヶ丘の小児病院の廃止計画を進めています。

全国に千床ある小児精神病床のうち、梅ヶ丘病院は、その4分の1を担っています。小児救急は、緊急性を要し、1分1秒が重大な結果を招きます。N

ICUの病床不足、周産期を含めた小児医療体制の整備・拡充が求められています。こうした中、2・21行動実行委員会主催の「都立3小児病院存続を求める都民のつどい」が2月21日豊島区「みらい座いけぶくろ」で開催され500人余の人が集まりました。

東京の保健衛生医療の充実を求める連絡会代表の四谷信子さんは、「石原知事は、オリンピック招致、新銀行へとお金をどぶに捨てた。差別発言、そして子どもたちのための病院を何のためらいもなくなくしてしまう。そして、その事を議会も平然と認めてしまう。子どものいのちを平気で奪い施策は許せない。反対の声をあげていきましょう。そして来年は、都知事選挙があります。皆さんも一緒に頑張りましょう。」と開会の挨拶で訴えました。

続いて、連絡会の氏家代表委員は、「この10年間で運動が広がってきている。3小児病院なくすな！、存続させるの署名は、62万筆、チラシ三八五〇万枚、都議会座り込み行動20回、議員要請ハガキ3万3千通、パレード・要請行動は2回で延べ三三〇〇人が参加し運動が広がった。

東京都は、3月16日に廃止することを昨年12月28日付け「東京都広報」で公布しました。これにともない、外来の閉鎖が次々と行われ、まさに医療難民がでてくる状態である。病院内部では、人事や労働条件の確定が遅れ、マニュアルも出

来ていない。都議会民主党は、都議選で民主党の議員37人中31人が3小児病院廃止反対を掲げて当選したのに、公約を裏切り廃止を容認している。

いのちを守る運動は、貧困・雇用・高齢者・福祉などの運動と連動する。24日から始まる第1回定例都議会に向けて座り込み行動を実施、都議会傍聴をよびかけ、引き続き3小児病院の存続、東京の医療の充実をもとめて共に闘う」と決意を述べました。

3小児病院存続は可能

日本共産党の大山とも子都議は、「24日から始まる都議会でも、存続可能な組み合わせ条例提案を生活者ネットに働きかけました。実現できませんでした。廃止に向けた動きの中で、40度近い高熱を出し、清瀬小児病院に電話しても多摩北部医療センターに電話を廻され、電話が繋がったのは、3時間後。百人もの患者が待っていることを言われ、高熱の子どもの抱え、一晩待つ状態だった。こうした医療難民化している子どもの実態を訴え、3小児病院存続は、可能であることを今議会で闘う」と決意を述べました。

三小児病院の守る会から、病院の意義と存続を訴えました。

参加者は、集会終了後池袋駅周辺で、署名宣伝行動を行ない、三七四筆の署名が寄せられました。

東京自治労連書記・杉山美恵子

地域社保協 交流集会開催

都議会議員



都税は、前年度に比べ12・7%減の四兆一、五一四億円で一般会計の予算規

模は、前年度比5・1%減の六兆二、六四〇億円となっている。都税収入は大きく減収したとはいえ、12年間の平均都税収入に匹敵する収入で都民要求実現のために使える基金は1兆3千億円があります。

規建設は11年連続ゼロ、民間建築物の耐震化のための助成予算は大幅減額となっている。もつと都民のための予算にすべきですと話しがありました。



「公設派遣村からの課題は」・田川英信副会長(東京自治労連)

春のたたかいをどう取り組んでいくか、各団体の活動交流に学ぼうと2月5日(金)東京労働会館地下会議室で地域社保協交流集会を開催しました。

7都団体11名、18地域社保協24名、事務局2名で全体で37名の参加でした。

司会は相川和義事務局次長が行ないました。



大の問題は都立3小児病院の廃止です。福祉保健局予算は増額になっているが多くの国の事業によるもので、特定健診・特定保健指導の実施率が30〜40%と低迷している。もっと補助すべきです。

「ワンストップ・サービスをつくる会」が12月24日と31日に取り組み、八三〇名を超える人がオリンピックセンター等の宿泊施設を利用したり、生活保護の申請をしました。

「貧困と格差」をなくし、誰もが安心して生活できるように社会保障制度を改善と地域での相談活動を強めよう。

開会あいさつ・高木史雄副会長(東京土建)



派遣村から1年が経ちました。政権交代があり、少しは良くなるのではないかと

後期高齢者医療の広域連合に対する都独自補助は健康診査のみとなっている。あと一〇五億円あれば所得割も含め保険料を据え置きできる。現状では4割の人が値上げになる。

雇用関連の事業はほとんど国の基金となっている。少人数学級への踏み出し、都立高校授業料無料化は重要な成果です。豊洲移転、外環道、首都高速道路など投資的経費は石原都政で最高額となっている。都営住宅新

規建設は11年連続ゼロ、民間建築物の耐震化のための助成予算は大幅減額となっている。もつと都民のための予算にすべきですと話しがありました。

とていう、極めて大きな歴史的転換の年になりました。たたかいたかい

の期待がありました。後期高齢者医療制度も廃止を先送りされ、廃止法案が参議院で通ってから2年以上動いていません。私たちは4・3集会を大きく成功させ、即時廃止をめざしてがんばっていきましよう。

「存続条例」が提案できるかどうか争点。「2・21都立3小児病院存続を求める都民のつどい」みらい座いけぶくろ(豊島

「公設派遣村からの課題は」・田川英信副会長(東京自治労連)

昨年「一年越し派遣村」から1年経ち雇用破壊がさらに広がっています。東京都は住居を喪失し生活に困窮しているひとを対象に「公設派遣村」を取り組みましたが広報が不十分などよく伝わっていません。

後期高齢者医療制度は、「廃止」目標百万筆(現在八七万三千筆)

「2010年中央社保協代表者会議報告と当面の課題・前沢淑子事務局長

2009年は、真夏の総選挙で54年続いた自民党政治が国民の手によって引きずり下ろされ

「2010年中央社保協代表者会議報告と当面の課題・前沢淑子事務局長

春のたたかについて

①各自治体から国・東京都へ財政支援の要請と広域連合への要請を

東京都予算について・日本共産党・大山とも子

3面に続く

3面に続く

3面に続く

3面に続く

熱心に学び交流しました



た。区へもお願いした。昨年介護の学習会も行なった。区として特養ホームをつくることになった。後期高齢者医療問題については9条の宣伝と一緒に宣伝をやっている。医療保険制度一元化のこともしつかり学習したい。3月25日篠崎さんと呼んで学習会を行ないます。

港社保協・窪田さん

区議会請願を行なっています。一昨年は介護保険、昨年は障害者問題、議会はいつも継続審議となっていたので、その場を活用し、参加者を組織し各分野の実態を訴えている。保育では待機児童が八〇〇人いますが5園開園で五〇〇人増えたが千八百人の申込みがあった。認証保育園も入りきらない状況。1人で20万円、二人で40万円かかる。お金がある人が認可保育園に入れている。国保の一元化に関心が高まっている。

葛飾社保協・吉野さん

後期高齢者医療制度廃止をめざし葛飾連絡会を立ち上げることになった。懇談会に15団体22人が集まった。準備会を2月23日に行ない、地域の中に広げていきたい。宣伝カーによる宣伝2回、駅頭宣伝を3回取り組んできた。

府中社保協・小松さん

19日、情勢を切り開く学習会を篠崎さん講師に3者合同学習会を行ない、その後社保協総会を開催。3・11重税反対集会時、社保協も申し入れを行なう。暮れにも区に交渉した。特養の待機者は五百名、9月まで介護保険認定問題を取り組む、約1/3が低くされた。

西東京社保協・岡本さん

国保のことで臨時幹事会を行なった。西東京市は市民に3億円をかぶせている。後期高齢者医療問題はよくわからない。地域も燃えていない。保険料を上げないようにもう一回要請していきたい。医療保険制度の一元化の問題も学習していきたい。3月9日に西武沿線、周辺の社保協交流会を行ないます。

実態を明らかにしよう。

(4) 後期高齢者医療制度の即時廃止させるため「4・3大集会IN東京」を過去最高の1万5千人以上の参加で成功させよう。

① 集会成功へ学習会を開こう
② 宣伝、地域からの老人クラブや医療関係団体への申し入れを、地域連絡会の結成など草の根のたたかいを進めていきましょう。

態を訴えている。保育では待機児童が八〇〇人いますが5園開園で五〇〇人増えたが千八百人の申込みがあった。認証保育園も入りきらない状況。1人で20万円、二人で40万円かかる。お金がある人が認可保育園に入れている。国保の一元化に関心が高まっている。

後期高齢者医療の学習会を行ない、自治体に廃止を求めめる陳情を行ない、継続審議になった。12月14日に決起集会を40名の参加で取り組み、デモも行なった。合羽橋も通り激励もあった。3月25日総会を開催。都営住宅跡地に特養ホームが建設されることになった。後期高齢者医療廃止署名を老人会50カ所に送付し10カ所から署名が届いた。区に對する予算要求も行なっている。区議団ニュースに後期高齢者医療廃止署名を入れたらすごい数の署名が集まっている。

30日対市交渉を行なった。7部所延べ7時間10分。参加者は70名を超えた。毎年9月に要請、11月に解答書がきている。項目別に分けて、介護保険利用料減免・生保など簡単なリーフを作製し、要請している。25条宣伝行動は1回目後期高齢者医療、2回目は高齢加算の宣伝を行なった。旗も作った。3月16日に学習会も計画している。

の反対。自分も2万5千円保険料が上がった。二一三万人の人が2万3千円上がる。保険料が上がらないようにしていきたい。

交流

品川社保協・阿部さん

介護保険問題を取り組んでべき姿を考えていきたい。

毎回の区議会に請願している。母子加算・高齢加算の復活では17対16で否決された。区議会は自民党が第1党で難しい。学習会、宣伝行動をやりながらあるべき姿を考えていきたい。

後期高齢者医療の学習会を行ない、自治体に廃止を求めめる陳情を行ない、継続審議になった。12月14日に決起集会を40名の参加で取り組み、デモも行なった。合羽橋も通り激励もあった。3月25日総会を開催。都営住宅跡地に特養ホームが建設されることになった。後期高齢者医療廃止署名を老人会50カ所に送付し10カ所から署名が届いた。区に對する予算要求も行なっている。区議団ニュースに後期高齢者医療廃止署名を入れたらすごい数の署名が集まっている。

30日対市交渉を行なった。7部所延べ7時間10分。参加者は70名を超えた。毎年9月に要請、11月に解答書がきている。項目別に分けて、介護保険利用料減免・生保など簡単なリーフを作製し、要請している。25条宣伝行動は1回目後期高齢者医療、2回目は高齢加算の宣伝を行なった。旗も作った。3月16日に学習会も計画している。

の反対。自分も2万5千円保険料が上がった。二一三万人の人が2万3千円上がる。保険料が上がらないようにしていきたい。

なった。制度を知らない人も多い。地域のまちづくりも含めて進めていきたい。トヨタ総行動も取り組み、社会的責任を果たすよう進めていきます。

まとめ、閉会あいさつ・福井典子副会長



短い時間の中で中身がある発言をしていただきました。新しい政権の下での何を訴えるのか、

考える必要があります。1月24日巣鴨で高齢者医療の宣伝行動を行ないました。おおくに人が駆け寄ってきました。打つて出ると反応があった。社会保障が草の根の運動を取り組んでいく必要がある。ぜひグレードアップしていきましょう。もっと集中してほしい。地域社保協のことが中央社保協の方針にもなっている。4・3集会には1万5千〜2万人の参加で大成させたいきましょう。東京社保協40周年を迎えての東京社保学校も多くの参加で成功させていきま



江戸川

江戸川で春闘学習決起集会開催

江戸川では、2月23日春闘共闘主催による春闘学習決起集会が江戸川総合文化センターで開催され、五〜三人の仲間が参加しました。

学習では、全労連の斎藤寛生さんを講師に招き、「公契約適正化運動の到達と課題」のテーマで講演をうけました。斎藤さんの講演では、「公契約運動とは、税金で働く不幸な人・貧乏人を決して作らせない運動だ」と指摘があり、また「ナシヨナルミニマム(最低生計費)の問題でいえば、厚生労働省の考えは『死ななければいい』という考え」であり、これを変えさせるのが私たちのたまたかいと強調されました。今後の運動では、「野田市の条例制定で公契約の運動は大きく前進した。公契約の運動を労働の尊厳を取り戻す壮大な運動に発展させよう」と力強い訴えがありました。発注者責任を断罪した埼玉県ふじみ野市市営プール死亡事故の判決の例や建設公共事業のピンハネの実態をまじえた講演に、多く

の土建の仲間は食い入るように聞き入っていました。

集会は、特別報告として東京土建の矢野孝さんから「朝日新聞の建設国保攻撃に抗して」の報告がありました。全建総連の仲間は決して不当な国からの補助金は受けていない。独自の付加給付は公営国保より高い保険料設定による内部努力であり、日給月給の建設労働者にとつてはなくてはならない命の綱であること、マスコミを利用した国の攻撃のねらいは、国民のなかに医療給付の問題で分断を持ち込み、低い医療給付に国民医療全体を引き下げることがねらいだ、と指摘しました。



すべての医療費負担を無料にする、その方向に前進させるのが政治の果たす役割だ、そのために地域の仲間も団結しよう、と呼びかけました。参加者全員に「後期高齢者医療制度はいますぐ廃止! 4・3集会IN東京」のチラシを配布しました。集会後、要求を書きこんだ万灯を夜空に高くかかげ、手に手にチョウチンを持ち、元氣よく江戸川区内をデモ行進しました。

江戸川社保協事務局長 富田川覚

**後期高齢者医療制度は
いまずぐ廃止! 安心の
医療実現! 4・3大集
会IN東京**
多くの諸団体、老人会にも参加を呼びかけましよう!
宣伝行動を取り組みましよう!
1万5千人以上の参加で大きく成功させよう!

お知らせ

「日本年金機構でどうなる年金?」 3月6日(土)

13時~16時30分 全労連会館2階ホール

東京社保協国会議員要請行動 3月17日10時半~12時 衆議院第1議員会館第4会議室 団体2名以上

国会行動 3月3、4月7、21日、5月12、26、6月9日 いずれも12時15分~13時 衆議院第2議員会館前

○中央社保協行動 4月21日、5月26日

院内集会、国会議員要請行動 13時半~16時半

いずれも衆議院第1議員会館第4会議室

都立3小児病院を守る都庁前座り込み

3月2、3、4、9、11、12、15、18、19

25、26日 各11時~13時 都議会棟横

東京社保学校、40周年レセプション 5月22日(土)

10時~17時20分 レセプションは17時50分~20時